

第 36 回近畿高等学校総合文化祭兵庫大会

将棋部門実施細目

- 1 開催日時 平成 28 年 11 月 19 日 (土) 12 : 00 ~ 17 : 00
20 日 (日) 9 : 30 ~ 14 : 00

- 2 会 場 兵庫県立のじぎく会館
〒650-0003 兵庫県神戸市中央区山本通 4-22-15
TEL 078-242 -5355 FAX 078-242 -5360
URL <http://www.hyogo-jinken.or.jp/nojigiku/>

[将棋部門担当者]

〒661-0981 尼崎市猪名寺 3-1-1
兵庫県立尼崎稲園高等学校
廣峰 義博 (ひろみね よしひろ)
TEL 06-6422-0271 FAX 06-6422-0272
e-mail kinki-soubun-sgi@hyogo-c.ed.jp

3 日程・次第

- (1) 日 程 平成 28 年 11 月 19 日 (土)
11 : 00 ~ 12 : 00 受付
12 : 00 ~ 12 : 20 開会式
12 : 30 ~ 17 : 00 対局
(14 : 00 ~ 17 : 00 交流会 [指導対局、交流対局])
平成 28 年 11 月 20 日 (日)
9 : 00 ~ 9 : 20 受付
9 : 30 ~ 13 : 00 対局
13 : 30 ~ 14 : 00 閉会式
(9 : 30 ~ 12 : 00 交流会 [指導対局、交流対局、大盤解説])

(2) 次 第 ①開会式

- ・開会のことば 将棋部門生徒実行副委員長
- ・あいさつ 第 36 回近畿高等学校総合文化祭兵庫県実行委員会将棋部門会長
- ・歓迎のことば 将棋部門生徒実行委員長
- ・講師・来賓紹介
- ・講師あいさつ 村田 顕弘 (審判長 日本将棋連盟 棋士五段)
- ・優勝杯返還 第 35 回大会団体戦優勝校 (男子) 大阪星光学院高等学校 (大阪)
(女子) 近畿大学附属高等学校 (大阪)
- ・選手宣誓 兵庫県選手代表
- ・対局上の注意
- ・閉会のことば 将棋部門生徒実行副委員長

②閉会式

- ・開式のことば 将棋部門生徒実行副委員長
- ・成績発表・表彰
- ・講師 村田 顕弘 (審判長 日本将棋連盟 棋士五段)
- ・あいさつ 第 36 回近畿高等学校総合文化祭兵庫県実行委員会将棋部会長
- ・お礼のことば 将棋部門生徒実行委員長
- ・次年度開催県あいさつ 大阪府代表生徒
- ・閉会のことば 将棋部門生徒実行副委員長
- ・連絡

- 4 講 師 村田 顕弘（日本将棋連盟 棋士五段）
島本 亮（日本将棋連盟 棋士五段）
村田 智穂（日本将棋連盟 女流棋士二段）

- 5 表 彰 各競技種目の優勝、準優勝、第3位（2名または2校）の表彰を行います。

6 参加校一覧

府県	学校名	学校名	参加校数
大阪府	大阪星光学院高等学校	府立成城高等学校	7校
	近畿大学附属高等学校	府立池田府立春日丘高等学校	
	上宮高等学校	飛鳥未来高等学校	
	金光大阪高等学校		
徳島県	徳島文理高等学校	県立城ノ内高等学校	7校
	徳島市立高等学校	県立川島高等学校	
	県立城南高等学校	県立城東高等学校	
	県立板野高等学校		
京都府	府立嵯峨野高等学校	京都共栄学園高等学校	9校
	京都成章高等学校	東山高等学校	
	府立西舞鶴高等学校	府立乙訓高等学校	
	京都文教高等学校	洛南高等学校	
	府立福知山高等学校		
奈良県	県立平城高等学校	東大寺学園高等学校	8校
	県立郡山高等学校	奈良学園高等学校	
	県立橿原高等学校	西大和学園高等学校	
	奈良女子大学附属中等教育学校	奈良学園登美ヶ丘高等学校	
滋賀県	県立湖南農業高等学校	県立玉川高等学校	6校
	立命館守山高等学校	光泉高等学校	
	虎姫高等学校	県立瀬田工業高等学校	
和歌山県	県立和歌山工業高等学校		4校
	県立桐蔭高等学校		
	県立星林高等学校		
	県立海南高等学校		
三重県	高田高等学校	県立上野高等学校	8校
	県立伊勢高等学校	県立松阪高等学校	
	四日市高等学校	三重高等学校	
	暁高等学校	県立宇治山高等学校	
福井県	福井工業高等専門学校	北陸高等学校	5校
	県立若狭高等学校	県立大野高等学校	
	県立藤島高等学校		
鳥取県	県立鳥取工業高等学校	県立鳥取東高等学校	5校
	県立米子白鳳高等学校	県立鳥取西高等学校	
	県立米子東高等学校		
兵庫県	灘高等学校	尼崎市立尼崎双星高等学校	9校
	県立加古川東高等学校	神戸龍谷高等学校	
	甲南高等学校	県立尼崎稲園高等学校	
	淳心学院高等学校	雲雀丘学園高等学校	
	県立御影高等学校		

【将棋部門連絡事項】

1 進行表

- 11月19日(土) 11:00～12:00 受付【3階ロビー】
12:00～12:20 開会式【3階大ホール】
12:30～ 予選1局目
13:30～ 予選2局目→連勝者(チーム)は報告時に、決勝トーナメントの抽選
14:30～ 予選3局目の抽選
14:40～ 予選3局目→勝者(チーム)は報告時際に、決勝トーナメントの抽選
15:50～ 決勝トーナメント1回戦(男子個人戦のみ)
(14:00～17:00) 交流会[指導対局・自由対局]会場【2階大会議室】
※指導対局の申込み受付もここで行います。
- 11月20日(日) 9:00～9:20 受付【3階ロビー】 対局場【2階大会議室】
9:30～ 準々決勝 ※女子団体は準決勝になります。
10:40～ 準決勝 ※女子団体は決勝になります。
11:50～ 決勝
13:30～14:00 閉会式【3階大ホール】
(9:30～12:00) 交流会[指導対局・交流対局]会場【3階大ホール】
※指導対局の申込み受付もここで行います。

2 競技種目

- 男女団体戦 各府県代表1チーム(3名で構成)
男子個人戦 選手権(各府県2名以内)
A級(各府県2名以内)
B級(各府県2名以内)
女子個人戦 選手権(各府県2名以内)
A級(各府県2名以内)
- 個人戦と団体戦(補欠も含む)を兼ねての出場はできません。
○大会運営上、開催県は参加人数が増えることがあります。
○団体戦については、補欠生徒の登録を2名まで認めます。補欠登録していない生徒の出場は認めません。

3 競技方法

(1) 予選

- ①4名(団体戦は4チーム)一組でリーグ戦を行います。
1局目の勝者同士で2局目を行い、その勝者は予選を通過。
1局目の敗者同士で2局目を行い、その敗者は失格。
1勝1敗となった者(チーム)は改めて抽選のうえ対局、勝者は予選通過、敗者は失格となります。
- ②出場者(チーム)数の関係で3名(3チーム)になる組が出た場合、不戦勝があります。
- ③予選では同一府県同士が同じ組に入らないように抽選します。
- ④抽選は10月に主催者が行い、出場校及び各府県将棋専門部事務局に文書で通知します。

(2) 決勝トーナメント

- 2連勝(不戦勝を含む)で通過した者(チーム)同士が1回戦で対戦しないようにします。

(3) 団体戦について

- ①登録メンバーの同一番号の対戦とします。登録には3名以上が必要です。
- ②2人以上勝ったチームが勝ちチームとなります。(相手の欠場による不戦勝を含めます。)
同じ番号の選手が両チームとも欠場し、かつ対局結果が1勝1敗となった場合は、抽選で勝ちチームを決定します。

(4) ルール

- ①日本将棋連盟のルールに従います。
- ②先後手の決定は振り駒で決めます。
- ③団体戦は主将が振り駒をし、副将以下交互に先後となります。
- ④待った(駒から手を離したら変更できません)・助言・批評は厳禁です。
- ⑤二歩その他反則は即負けとなります。反則の指摘をできるのは対戦者だけです。指摘がない場合はそのまま対局が続きますが、指した直後でなくても盤面に証拠が残っている場合(二歩、行き所のない駒など)は指摘できます。投了後の反則の指摘は無効です。
- ⑥対局には対局時計を使用し、持ち時間は15分で、使い切ると30秒の秒読みとします。秒読みは

対局時計の秒読み機能を使用し、表示窓の数字が0になったら負けになります。対局時計の置き場所は後手が決定できます。時計は指した手で押さねばなりません。

⑦千日手は、1回目は先後交代で指し直します（連続王手の千日手は、王手をした方の負け）。原則として、指し直し局の持ち時間は残り時間とし、時計の位置は変更しません。秒読み段階での指し直しは、最初から30秒の秒読みとします。2回目の千日手は、抽選で勝敗を決めます。

⑧持将棋は、27点制（大駒5点、小駒1点）で27点に満たない方が負け、同点の場合は後手の勝ちです。

⑨規定の時間が過ぎても、対局が終了しない場合、勝敗を審判長が判定する場合があります。

⑩その他の問題が生じた時は、審判員の判定によります。

⑪団体戦で補欠の選手が出場する場合は欠場者の位置にそのまま補充してください。参加申込書みのオーダー順と変更がないようにしてください。また、チームに欠員が生じた場合は、その対局は不戦敗とします。

(5) 進行

①対局の合図があっても相手が現れない場合、振り駒を行い、先手番なら一手指し、後手番なら指さずに対局時計を押してください。

②対局が終了したら、速やかに勝者（団体戦は3局終了後に勝ちチームの主将）が進行本部まで報告してください。感想戦はその後をお願いします。

③問題が生じたときは、盤面を崩さずに時計の中断ボタンを押し、速やかに審判員まで申し出てください。

4 交流会

指導対局	村田 顕弘（日本将棋連盟 棋士五段） 島本 亮（日本将棋連盟 棋士五段） 村田 智穂（日本将棋連盟 女流棋士二段）
交流対局	担当の方で対戦相手を組みます。
大盤解説	プロ棋士による男子個人戦（選手権戦）の決勝戦の同時大盤解説を予定しています。

5 審判

（審判長）	村田 顕弘（日本将棋連盟 棋士五段）
（副審判長）	島本 亮（日本将棋連盟 棋士五段）
（審判員）	将棋部門実行委員

6 諸連絡

(1) 参加校への連絡事項及び諸注意

①対戦者の迷惑となるような行為は絶対に行わないで下さい。

②対局場では携帯電話の電源を切ってください。

③観戦は通路からのみとします。対局者の背後は通らないでください。（なお、通路も大変狭いので、対局の妨げにならないことを常時意識してください。）

④写真撮影は対局の妨げとならないよう、なるべく対局開始前をお願いします。

⑤対局場での飲食は、飲み物のみ認めます。

⑥指定業者に注文していただいた弁当の配布は、3階ロビー（受付と同じ場所）で行います。注文していただいた弁当の空き箱及びお茶の容器は業者が回収しますので、所定の場所に返してください。その他のゴミについては、各自で持ち帰ってください。

(2) 救 護

①救護が必要な場合は、近くの係員までご連絡ください。

②会場から医療機関への移送には、参加校関係者の付き添いをお願いします。

③医療機関における医療費および移送費等、受診にかかる費用は、受診者の負担となります。

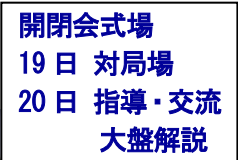
④AEDの設置場所 1階受付

(3) 事務局会議

日時	平成28年11月19日（土） 15:00～16:00
場所	中会議室（2階）
参加者	各府県の将棋部会事務局員またはその他の代表者
内容	1) 第36回兵庫大会の準備・運営について 2) 第37回大阪大会の概要について 3) 質疑応答

(1) 会場アクセス

(2) 会場付近図



3階

- 大ホール (360人、机使用の場合240人)
- ロビー
- 受付
- WC
- 機械室
- EV

2階

- 本部
- 大会議室 (201号室) (126人)
- 中会議室 (202号室) (30人)
- ロビー
- 湯沸室
- 多目的WC
- 209号室 (24人)
- 210号室 (24人)
- 211号室 (12人)
- 212号室 (12人)
- 203号室 (30人)
- 204号室 (42人)
- 205号室 特別会議室 (24人)
- 倉庫
- WC
- EV
- 管理入室
- 208号室 (15人)
- 207号室 (15人)
- 206号室 (30人)

20日 指導・交流 大盤解説

19日 指導・交流 20日 対局場

選手・引率控室